



特定非営利活動法人森倶楽部 21 の活動報告

# 里山再生への取り組み

—チョウを指標にして—

「つなげよう、支えよう森里川海」 ミニフォーラム in 松本 2015/12/13

## ◆会員構成

会員数38名（女13名、男25名） 30歳台～70歳台  
60歳代以上22名、林業関係者9名

## ◆活動スケジュール

月4回の野外活動、月1回の定例会議

### 今年7月の活動例

月 日	行 事	集合場所	時 間
7月 7日(火)	蝶の森活動	蝶の森駐車場	9:30～
7月 8日(水)	例会	松南地区公民館	19:00～
7月 12日(日)	森林の里親事業	天平の森駐車場	8:30～
7月 14日(火)	絆の森活動	天平の森駐車場	9:30～
7月 21日(火)	蝶の森活動	蝶の森駐車場	9:30～
7月 26日(日)	絆の森活動	天平の森駐車場	9:30～



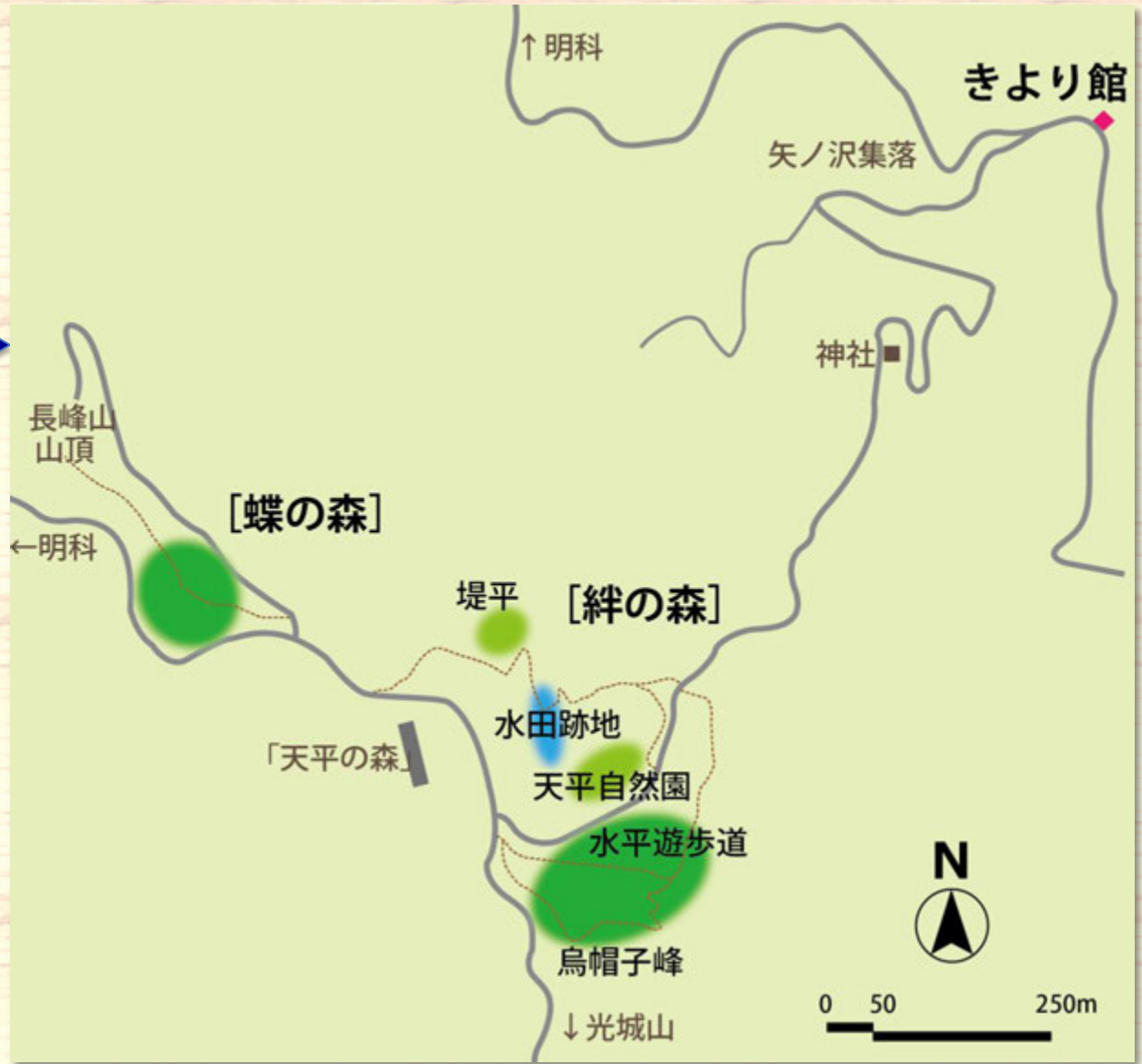
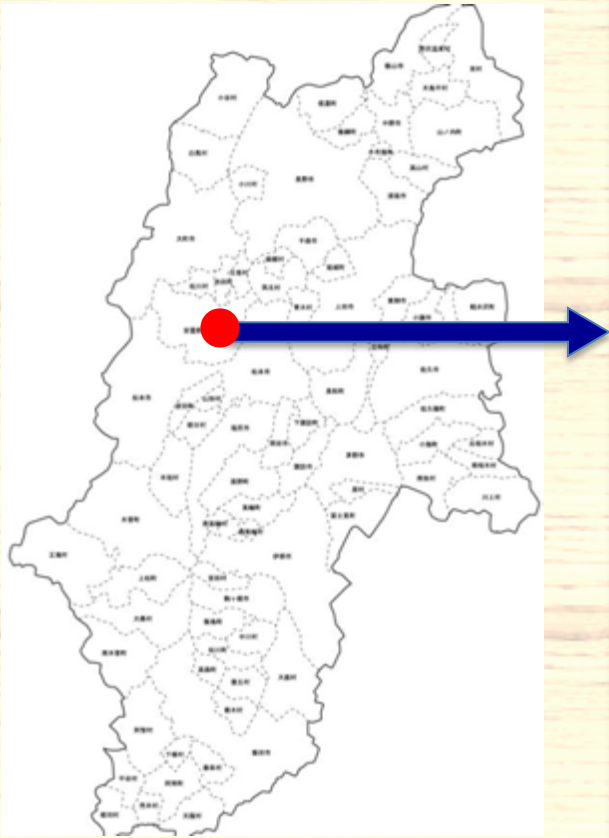
# これまでのあゆみ

- 1997 地球温暖化防止京都会議開かれる  
環境問題を考える信州気候フォーラム誕生
- 1998 映画「草刈り十字軍」を自主上映  
身近な森林を実際に見てみよう！と活動を開始
- 1998 大町市個人所有林を見学  
初めて木を伐る！体験をする
- 1999 大町市の山林で森づくりの指導を得て  
初めてカラマツ林の間伐を行う
- 2000 任意団体「森倶楽部21」として新たに出発  
安曇野市長峰山を主に里山保全活動を始める
- 2008 5月に法人格を取得

現在 特定非営利活動法人森倶楽部21として活動を展開中



# 活動場所 安曇野市明科長峰山







# 蝶の森の活動経緯と活動内容

- 2000年 4月 長峰山から矢ノ沢地区一帯の動植物調査を開始
- 2002年 10月 育樹祭が長峰山で開催される(主催:松本地方事務所)  
草原約2haの天地返し
- 2003年 5月 北東部の除伐とチョウの道150m開設  
9月 草原の植物調査 82種
- 2005年 9月 蝶の森約2haの整備を開始  
チョウの道と農道総延長400mの整備  
帰化植物の抜き取り、刈り取り作業
- 2006年 間伐材利用の樹木札設置

以後毎年2回の草刈り、林内の除伐、林床整備を続けている

# 活動のようす①



チョウの道と農道総延長400mの整備



林内の除伐、林床整備



帰化植物の抜き取り、刈り取り作業

# 活動のようす② 2015年5月



午後は草原西側奥の粗朶をチョウの道下まで運び、草原拡張の下準備が出来た。力を合わせれば、アツという間だ。



羽化したばかりのヒメウラナミジャノメ



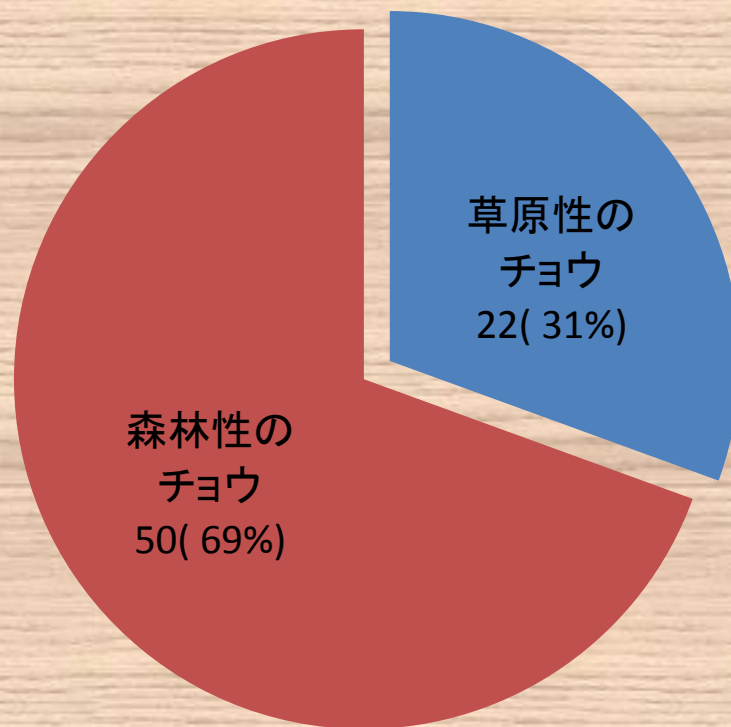
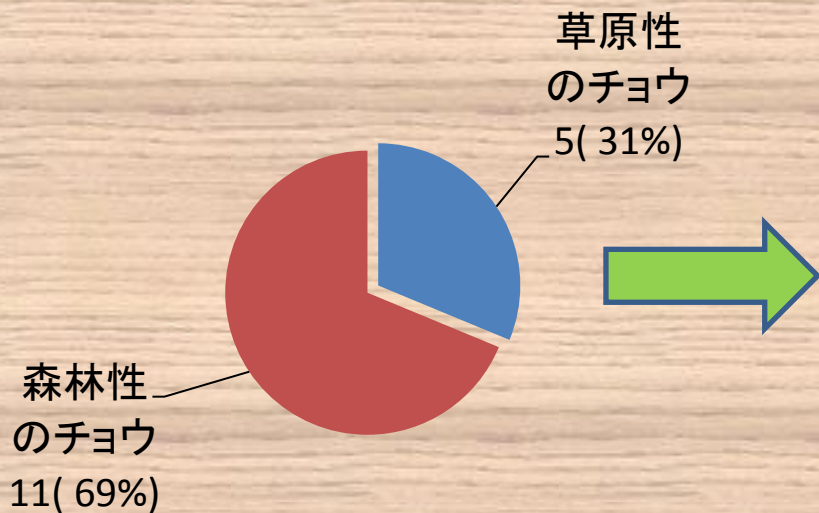




# 活動結果 チョウの種類数の変化

2003年調査 16種

2009年調査 72種



2007/7/9の調査では、最多の34種を一日で観察した

# 活動結果 草原植生の変化

- カモガヤを主とする牧草優占の植生から、ススキ群落の在来植生へ...
- 草原内の植物は約100種で推移



カワラナデシコ



オミナエシ



キキョウ



ヒヨドリバナ

# 活動継続のポイント

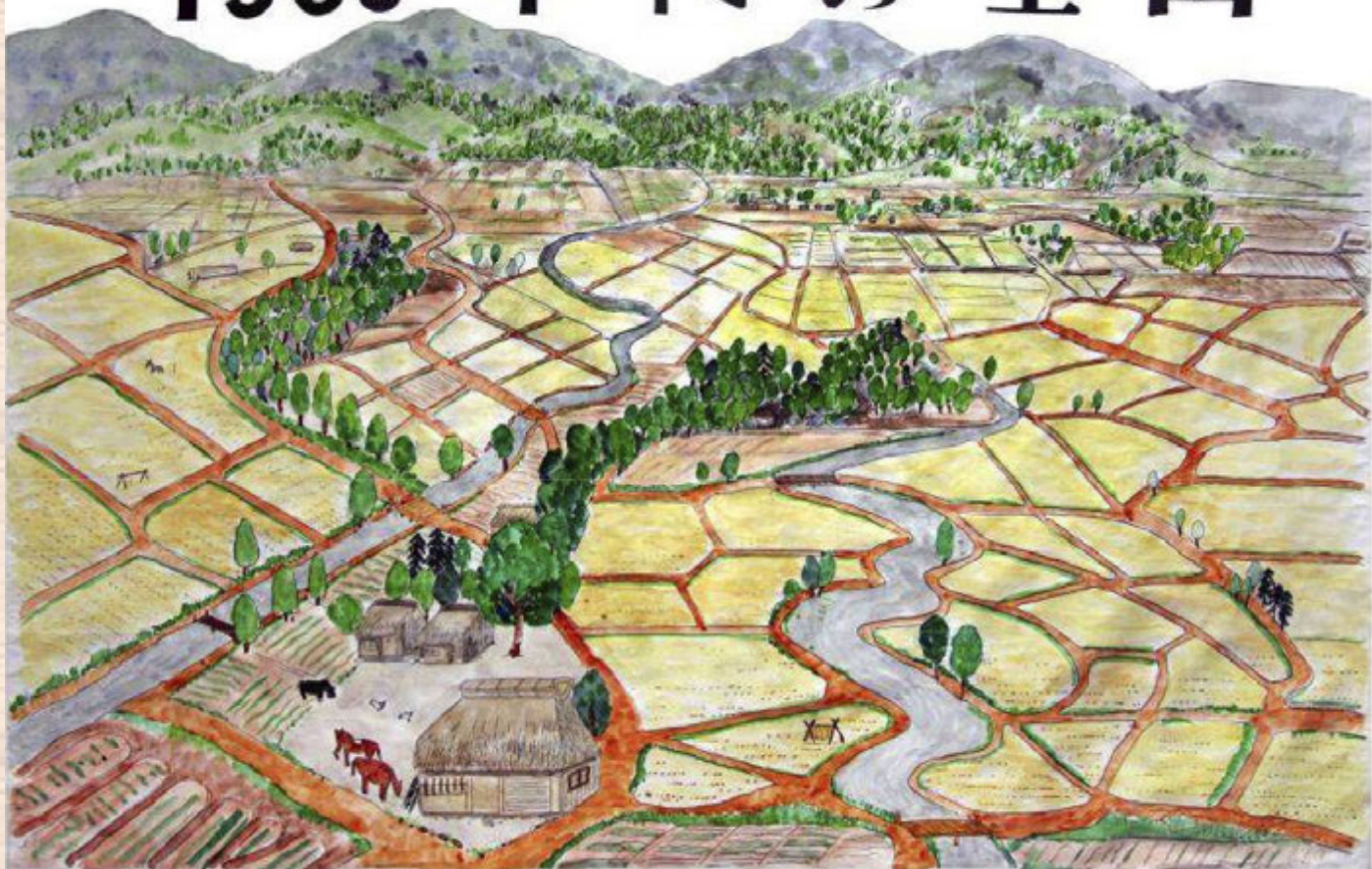
## ①地元の理解と交流



# 活動継続のポイント

## ②里山で暮らしてきた方の協力

### 1950年代の里山



浜栄一さん(蝶類研究者、松本市在住)の描いた里山

# 活動継続のポイント

## ③仲間とともに



# 長峰山発 里山再生のしくみと活用

市民と土地所有者の  
コーディネート

[行政]  
長野県  
安曇野市

[NPO]  
森倶楽部21

活動資金

- ・行政支援
- ・里山保全に関する寄附など

長峰山  
森倶楽部21

啓発活動

- ・観察会などの環境学習
- ・長峰山フォーラム
- ・安曇野市里山再生計画など

生態系の知識、整備手法等の習得

長峰山を  
とりまく  
地域住民

[専門家]  
長野県環境保全研究所  
林業総合センター  
動植物の専門家

林業事業者

市民の憩い・学び

- ・トレッキング
- ・子どもたちの遠足など



# 多くの人がちよっと汗を流せば 里山は蘇る

5.17(日) 林ラン7km  
午前直宮班の作業地を見て、今後の方針を練った。  
矢ノ沢蝶の森の日蔭は涼しく、手入れをしてみたい場所であると、感動であった。  
午後はH.25植樹地の草刈りに汗を流した。

# 感動と発見そして健康生活を 里山で！

キハダの大木もあった。

特定非営利活動法人森倶楽部21

